



我が家の近くに「豊橋新城スマートインターチェンジ」ができるそうです。スマートインターの開業に向けて、豊橋の北部地域の魅力と必要なものを語り合うワークショップがありました。小学校の校区について住民であれこれ探ると、病院がない、スーパーがない、公園がない等のないないづくしの中でも地域の自然や文化といった良いところもみつかります。こんなとりくみも良いなと思えたあっという間の時間でした。

園長 杉浦伸枝



- 1日(火) 見学研修
- 2日(水) 運動会
- 8日(火) PM 保護者勉強会
〈感染症について〉
- 11日(金) 岡村 Dr.診察
- 15日(火) やきいも会
- 16日(水) 防災訓練
- 18日(金) 竹村歯科医
- 21日(月) 誕生会
- 25日(金) やきいも会予備日
- 29日(火) はな組分離



- 8日(火) 増井 (田原)
- 11日(金) 増井 (PM 会内)
- 22日(火) 増井 (AM 新城)
- 29日(火) 水野 (豊川)
- 30日(水) 久保 (各務ヶ原)



- 5日 Mあゆむくん 5さい
- 30日 しゅりちゃん 2さい



外来保育

10:30~11:30

- 4日(金) 7日(月)
- 14日(月) 21日(月)
- 30日(水)

天気の良い日にはお散歩に行くこともあります。
防寒具や帽子を持ってきてください。



14日(月)~18日(金)
リハスタッフが各クラスに入って
保育の様子をみます。
リハビリはありません。



普段みられるお子さんの行動は どういった意味を持つのでしょうか



●人見知り

こどもが自分にとって最も重要な大人が誰かを認識するようになり、見知らぬ人には泣くようになります。このような身近な大人に対する関係性は「愛着」と呼ばれるものです。他者の認識と自分にとって身近な人への愛着の発達には「自己」の認識につながり、自分の名前を呼ばれて反応することにつながります。

●探索行動

危険や手だてを知らない子どもにとって探索には危険を伴うものになります。探索を続けるにはその危険などによるストレスを解消する必要があります。愛着を抱く大人はこどもにとってストレスから安心感を回復させる役割もあります。なので、大人との親密な関係によって促通されるものともいえます。探索行動での成功体験がまた新たなものに対する挑戦意欲を生むことになります。

●指さし

最初は指さしをするだけだったのが、指さしに加えて声を出したり、大人の方を見るなどして注意・関心を確認したり、操作したりするようになります。

指さしには、自分が見つけたものを指さすという「自分に向けたもの」と、自分の注意を「他者に伝えるためのもの」があります。



●イヤイヤ期

第一反抗期と言われるものです。親やまわりの大人が言うこととは反対のことを言ったり行動するようになります。他者の意図に反抗することが目的となって、こども自信は本当はどうしたいのかわかっていないこともあります。怒られたり、自分が言っていることを否定されたりするのが目的となっているので、大人が聞き入れてもどんどん興奮してきて泣き出してしまう場合もあります。

お子さんの行動には理由や意味があります。

お子さんが伝えたいことを大人が代弁したり、くみ取っていくことが大切になっていきます。

